

霧ヶ峰基金会報

2008年10・11月号(通算26号)

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactoryさま2階

TEL 090-9668-3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



豊穡の森をぬけて。

八島ヶ原湿原から流れ出る水は草原をくぐり、観音沢の原生林や御柱の森を抜け、周囲の沢々からも清冽な水を集め、車山湿原から流れでる東俣川、砥川と合流した後、諏訪神社下社春宮の脇を通り、諏訪湖に注ぎます。

地球上のすべての水を2ℓのペットボトル1本分にたとえると、私たち人間が使うことのできる水は、ほんの3滴ほどといわれます。霧ヶ峰はその貴重な水の恵みをもたらしている場所のひとつであること、そして私たちの生活も含んだ生き物たちの暮らしを支える大切な場所なのです。

積もる落ち葉も、それを糧に暮らす菌類も、誰もがその恩恵を受けています。

その一滴のはじまりを大切にしたい。

「霧ヶ峰福拾いウォーク」レポート

主催 諏訪GOKURA

共催・NPO法人霧ヶ峰基金 後援・長野県霧ヶ峰自然保護センター

諏訪市の旧上諏訪町内、特に角間川の扇状地と甲州街道が差し掛かる現在の諏訪市諏訪から元町地区は、角間川や霧ヶ峰山塊の伏流水が非常に豊富にあったため、江戸時代より酒や味噌をはじめとする醸造業や染物業が盛んに営まれました。特に醸造業は、高島城下町以外で営むことが禁止されたことと、霧ヶ峰山塊の豊富な伏流水があったためにこの地に集中しました。



酒醸蔵業は遡ること江戸時代より始まり、創業順から宮坂醸造 寛文2年(1662年)、酒ぬのや本金酒造 宝暦6年(1756年)、麗人酒造 寛政元年(1789年)、舞姫酒造 明治27年(1894年)、伊東酒造 昭和38年(1963年)の5蔵で酒造を行っています。これらの酒蔵は現在の国道20号線沿いのほんの数メートルの間に立地しています。

造り酒屋が、この短い区間にこれだけかたまって営んでいる場所は国内でも稀です。

かねてよりこの5つの造り酒屋のみなさまは、各酒蔵を自由に飲み歩くイベント「上諏訪街道呑み歩き」を3月と10月に実施していました。しかし、「呑み歩き」だけではなく、もっとほかにも諏訪の造り酒屋「諏訪GOKURA」でできるプロジェクトはないかとお考えになったそうです。

諏訪の醸造業を支えた霧ヶ峰高原の伏流水、甲州街道沿いの造り酒屋は、酒を作ることにより高島城下町と甲州街道上諏訪宿の歴史と文化を醸し出してきました。

「造り酒屋が仕込みの水を守るためには水源地のゴミを拾う」。「水源地となる霧ヶ峰を守ることは諏訪の酒を守ること、水源地の一滴の水がわれわれの仕込む水となり、そして一滴の酒となる。その大切な一滴を守りたい」。

そうした想いをもって、今回のプロジェクトは始まりました。

9月14日朝、お天気にも恵まれ、諏訪GOKURAによる「霧ヶ峰福拾いウォーク」はスタートしました。



約30名が参加、3つのチームに分かれてそれぞれ歩きながら、登山道沿いに落ちているゴミを拾いました。見つけれられるゴミは、観光客などによって、悪意あって捨てたとは感じられることのない「あめの包み紙」などが多かったのですが、タバコの吸殻(フィルター部分)の多さには驚きを隠せず、観光客のマナーの低さを垣間見る時でもありました。

また、ゴミの中にはトウモロコシの芯もいくつかありました。野生動物が多く生息する霧ヶ峰では、動物が食べることでできるゴミが捨ててあることは、食物連鎖という生き物同士の関係に変化をもたらし、本来その生物が食べるべきものを捕らなくなるなど、生態系に大きな影響を与える恐れがあります。



ゴミ拾い終了後のゴミの分類と分析の作業では、参加者からも、「何気なく持ち込んだゴミが動物に影響を与えてしまうことがあるんだ」との声が聞かれました。

3班で集めたゴミは全部で大きめのバケツに半分ほど。意外にもゴミの少なさに、諏訪 GOKURA の皆さんも驚いていました。その反面、「観光地である以上、どうしてもゴミのポイ捨ては減らないのか」、という言葉もありましたが、「これからもゴミ拾いを諏訪 GOKURA が続けていることを、もっとお酒をご購入されるお客様に伝えれば、いつまでも美しい霧ヶ峰を守ることができるかもしれない」という強い決意を聞くこともできました。

仕込み水と諏訪市民の飲み水の水源地、年間300万人の観光客が来る国内有数の避暑地との両立。霧ヶ峰高原が抱えている課題は多く、解決しなくてはいけない問題がたくさんあります。「この霧ヶ峰の一滴の水が、酒と



この街の文化と歴史を醸し出す」。ゴミ拾い活動の中で、長い歴史と文化と生活を守り続けていく諏訪 GOKURA のみなさんの強い志を見ることができました。

(副理事長 藤田香)

この活動の様子は「上諏訪街道呑み歩き」で発表されます。

今回の「福拾い」の様子の詳細は「秋の上諏訪街道呑み歩き」にて、展示発表いたします。

諏訪のおいしい地酒をご堪能しつつ、ぜひお立ち寄りください。

霧ヶ峰基金オリジナル手ぬぐいやポストカードの販売もいたします。

日時：2008年10月4日(土) 15:00~19:00

場所：諏訪市内国道20号線沿い 酒蔵街 真澄(宮坂醸造)さま駐車場(予定)

呑み歩きWEB <http://www.enjoysake.jp/nomiaruki/>

駐車場はございませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

霧ヶ峰高原御射山祭にご招待いただきました。

2008年8月28日(水)、霧ヶ峰高原の旧御射山神社にて上桑原牧野農業協同組合主催の御射山祭例祭が執りおこなわれました。

各牧野農業協同組合代表者をはじめとする、観光事業者や行政などの霧ヶ峰関係者が一堂に集まる中、NPO法人霧ヶ峰基金も祭事にご招待いただき、例祭に参加してまいりました。

例祭は宮坂清宮司の祝詞奏上で始まり、笛の音の奉納、その後、参列者が玉串を奉げました。

かつて、霧ヶ峰一帯は諏訪神社下社大祝の金刺氏の禁猟地であり、御射山祭には信濃武士、鎌倉武士が参加する全国的な大祭として盛大に行われました。

祭りでは、祭祀に伴い多くの武芸、相撲、武者競馬(くらべうま)などが行われていたそうです。

草原で行なわれていた武芸祭は、おのずとスケールの大きいものを想像してしまいます。現在のオリンピックや国体のような感じだったのでしょ



現代の我々は、祭祀のあとの直会(なおらい)で、過去の霧ヶ峰、今年の霧ヶ峰、将来の霧ヶ峰について大いに語り合ってきました。

例祭を機会に、なごやかに霧ヶ峰を話題に語らう『場』をいただけたことに感謝し、また不思議な縁を感じた一日でした。

(理事長：小原宏文)

(財)長野県緑の基金「森の恵み、地域の恵み再発見」

～信濃の国で物語をつくろう～

財団法人長野県緑の基金が「平成20年度、子どもゆめ基金」の助成を受けて行なう「森の恵み、地域の恵み再発見プロジェクト」の霧ヶ峰草原プログラムについて、NPO法人霧ヶ峰基金がガイド役をつとめています。

このプロジェクトは長野県内15箇所の地域で実施され、子ども達の目線で長野県の自然や文化に触れ、子ども達自身が教材を作り上げ、それらを通じて大人が地域を知り、子どもたちが未来の地域をどのようにしていきたいのかを伝えたり、共有したりすることを目的としています。

霧ヶ峰高原では諏訪地方事務所環境課がコーディネーターとなり、霧ヶ峰自然保護センターを拠点に5回のプログラムが行なわれる予定です。

第1回は湿原、第2回は草原・樹叢、第3回は昔の霧ヶ峰の姿、第4回は歴史、第5回はまとめとして企画され、現在プログラムが進行中です。



子ども達の意外な目線や興味にわくわくしながら、子ども達と共に自分も学んでいることがとても楽しく、次の回が待ち遠しいプログラムです。

(事務局 降旗香代子)

<お問い合わせ・お申し込み>
長野県霧ヶ峰自然保護センター
電話 0266-53-6456

活動記録 (2008年7月1日～8月31日)

7月	6日	・定例会開催
	12日	・モニタリング調査①
	13日	・モニタリング調査②
		・2008年度通常総会、開催
	17日	・諏訪アライアンスプロジェクトさいか 打ち合わせ会
	19日	・「モニタリング1000」調査一般サイト説明会(横浜市)
	20日	・「モニタリング1000」調査講習会(横浜市)
	22日	・オリジナル日本てぬぐい「コウリンカ」販売開始 ・「森の恵み、地域の恵み再発見」ガイド打ち合わせ
	26日	・会報2008年7・8月号発行 ・情報収集(霧ヶ峰高原)
	27日	・受託ツアー催行 ・情報収集(霧ヶ峰高原)
8月	1日	・ツアー催行 ・情報収集(霧ヶ峰高原)
	3日	・受託ツアー催行 ・情報収集(霧ヶ峰高原)
	8日	・ツアー催行
	9日	・下諏訪町大社門前「風鈴市」出展①
	10日	・下諏訪町大社門前「風鈴市」出展②
	17日	・情報収集(霧ヶ峰高原)
	18日	・諏訪GOKURA、イベント打ち合わせ
	23日	※荒天のため、モニタリング調査(植物相)中止
	24日	
	27日	・御射山祭、出席(霧ヶ峰高原旧御射山神社)
	31日	・定例会(モニタリング調査・水環境)開催

(2008年8月末日現在) 個人特別会員49名 個人一般会員70名 法人会員4団体 正会員10名

いつもご支援ありがとうございます。

寄付金（2008年7月1日～8月30日）を38,000円いただきました。

寄付金は、活動を通じて霧ヶ峰の環境保全とエコツーリズムの推進に活用されます。誠にありがとうございます。

【ご寄付くださった方々】 小原さま（横浜市）、大日方さま（長野市）、中村さま（横浜市）、ほか

霧ヶ峰基金は活動の趣旨にご賛同してくださる方の寄付金を、随時受け付けております。

金額は1円以上から、下記の郵便口座までお願いいたします。

全国の郵便局からいつでもお手続きいただけます。（手数料はご負担ねがいます。）

- ・口座番号 00520-7-44684
- ・加入者名 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

※ご寄付をいただいたかたのお名前の取り扱いについて

2008年4月より寄付金をいただいたかたにつきまして、金額に関わらず、ご本人様が希望されない場合を除き、会報上にてお名前をご紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。（お名前のご紹介を希望されない方は、その旨をお知らせください）

諏訪版オンパク **ズーラ**

大分県別府八湯「温泉泊覧会」（通称・オンパク）の手法を取り入れた“諏訪版オンパク”が、今年はいじめて開催されます。（期間は11月1～9日）諏訪市、岡谷市、下諏訪町の諏訪湖周3市町を会場に温泉、健康、美容、食などをテーマに16のプログラムが企画されています。正式名称は「信州・諏訪温泉泊覧会」、通称を諏訪地方の方言「ずら（“～でしょ？”の意味）」にちなんで「ズーラ」といいます。10月1日にはプログラムをまとめたガイドブックやホームページが開設され、同10日から予約が開始されます。

そのプログラムのひとつとして、「初冬の霧ヶ峰の夕暮れから夜への移り変わりを味わい、ほっこりとあったまって帰ろう」という前代未聞（！？）のプログラムを企画いたしました。ちょっぴり寒い霧ヶ峰の散策の後は、車山肩の「ころぼっくる・ひゅって」で、おなかもココロもあっためて、おいしいコーヒーでしめくくりましょ♪

晩秋の霧ヶ峰・夕日から宵闇ウォーキング

2008年11月1日（土）15:30～20:00

参加料金 5,000円（JR上諏訪駅⇔会場往復交通費、ガイド料、夕食、保険料込み）

JR上諏訪駅前発着（季節柄、天候により道路凍結等の恐れがあります。上諏訪駅からのご参加をおすすめします）

【ご予約・お問い合わせ】

ズーラ事務局（諏訪市観光協会）0266-52-2111

URL <http://www.zoola.jp/>（2008年10月1日オープン予定）

予約受付期間 2008年10月10日（金）～10月28日（火）

「モニタリング1000里地調査」参加中！**モニタリング調査レポート**



8月から水環境調査の項目に「pH」と「流量」を追加しました。流量に関してはデータの取り方に工夫が必要であることがわかり、目下研究中ですが、pHに関しては今月よりパックテストでなく専用の測定キットでかなり細かく測定します。

測定方法については専用の調査器具が必要なものもありますが、「100年続けること」を前提に選定された器具ですので、扱いも測定方法も非常に簡単なもので、どなたでもチャレンジできる調査であると思います。ツキイチ定例会でも水環境調査にチャレンジできますのでお気軽にご参加ください。

植物相調査に関しては、夏にはいり調査対象となる植物がぐんと増え、夏のうちに花をつける植物の多さに驚かされました。8月につきましては天候不良と振替日がとれず残念ながら欠側となりましたが、7月にだいぶ多くの植物種の開花をとらえており、9月の調査で補えるものと考えております。（担当：降旗香代子）

NPO 法人霧ヶ峰基金の活動を支援して下さる法人会員のみなさまです。



株式会社エルシーブイさま



信州総合開発観光株式会社さま



株式会社永田製作所さま



株式会社クリンビーさま

NPO法人霧ヶ峰基金は活動を支援して下さる企業・団体さまのご入会を随時受け付けております。
お問い合わせはNPO法人霧ヶ峰基金事務局 (e-mail kirigamine.kikin@gmail.com.) にて承ります。

オリジナルグッズ、好評販売中です。

草原に咲く花を集めたポストカードに、オリジナルデザインの「かまわぬ」製日本手ぬぐい。使い勝手のいいこだわりのグッズです。お手元でどうぞご愛用ください。通信販売もしています。



【オリジナルポストカード】

5種各1枚入り 450円

ニッコウキスゲ、マツムシソウ、
クリンソウ、アヤメ、コウリンカ

【オリジナル日本てぬぐい】

各1枚 1,200円

右から「月夜の霧ヶ峰」、「紅輪花」、
「アカバナシモツケ」



<通信販売のご案内>

- ①郵便局に備え付けの払込票でお申し込みください。
- ②通信欄にご希望の商品名と個数、お届け先の住所、氏名、電話番号をご記入ください。
 - ・配達日時のご指定及びギフト包装はいたしかねます、ご了承ください。また、日本国内の配達に限定させていただきます。
 - ・白い会員証をお持ちの個人会員(含家族会員)さまおよび法人会員さまは商品を1割引でご購入いただけます。通信欄に会員番号をご記入ください。
- ③商品代金+発送手数料 300円をお払込みください。(手数料はお客さまのご負担をお願いいたします)
加入者名 NPO法人霧ヶ峰基金
口座番号 00520-7-44684
- ④入金確認後、1~2週間以内に商品を発送いたします。
 - ・普通郵便またはクロネコヤマトメール便でのお届けとなります。

<ご注意>

- ・返品、お取替えは商品到着後1週間以内にご連絡ください。
- ・不良品はお取替えいたします。
- ・お客さまのご都合による商品のお取替えや返品の場合は返送料のご負担をお願いいたします。商品代金はお客さまご指定の金融機関口座に振込手数料と発送手数料を差し引いた金額をお返しいたします。
- ・オリジナル手ぬぐいは1枚1枚職人の手染めでございます。若干の色ムラやずれがある場合がございますが、手作りの風合いとしてお楽しみいただけます。

【会員の皆様へ】

第4回&5回ツキイチ定例会のお知らせ

今回は「散策会」と「水環境調査にチャレンジ!」という企画です。お友達やご家族、入会ご希望の方も歓迎です。ぜひ、ふるってご参加ください。

日時 ①2008年10月26日(日)

晩秋の霧ヶ峰をそぞろ歩き。

②2008年11月22日(土)

水環境調査

集合 ①午前8:00 霧ヶ峰自然保護センター駐車場

②午前9:00 霧ヶ峰自然保護センター駐車場

持ち物 歩きやすい靴、帽子、雨具、防寒具、お昼ご飯、飲み物など(紫外線対策をお忘れなく!)

参加費 無料(傷害保険加入済み)



- お申し込み ①10月18日までに事務局へお申し込みください
②不要(当日、定刻に集合場所にお集まりください)

編集後記 「秋だねえ」が散策のあいさつ代わりに今日この頃。どこまでも高い空にいわし雲。草原はあったかい色を帯びて、風に乗ってヤナギランやコウゾリナの綿毛が新天地に旅立っていきます。来年、またこの草原のどこかで芽生えを迎え、私たちの目を楽しませてくれるに違いありません。彼らの旅路にカンパイ!

あ! そうそう、もうじき新酒の季節ですね♪「上諏訪街道飲み歩き」にも是非お越しくださいね。(か)